

**座間市パソコンサポートクラブ
平成18年度 第3回 役員会 議事録**

2006年11月13日

記録 D グループ松原

日 時：2006年9月10日（日） 13:30～17:00

場 所：北地区文化センタ 講座室

出席者：（敬称略）

A グループ	B グループ	C グループ	D グループ	HP 部会	公民館	北地区 文センタ	東地区 文センタ
鈴木	-	竹本	松原	福田	山崎	井上	野口

1. 開会挨拶（竹本）

2. 公民館からの連絡事項/要望事項（井上）

- ・来年度の実施計画を提出したが、新しいパソコンのリース可否の結論はまだ出ていない状況
- ・採択されたとしても、各館に20台という形ではなく、1館に多くても6台程度となる
- ・その場合、実施館へPCを集めての講座となるため、今年度のように各館4回（計12回）の講座は難しく、各館3回程度の実施となるであろう
- ・採択された場合、納入は5月末、講座の実施は6月頃からとなりそう
採択されれば、年9回・されなければ、年12回予定
（現在のPCであれば、今年度同様、年12回の講座が可能）
- ・また、各館で実施しているパソコン相談も、講座中はPCが出払ってしまう為、旧PCで行なうか、相談者の自前PCとなる
（現在使用しているPC（各館20台）は、そのまま残るので使用可）
- ・あたらしいPCでは、ネットの閲覧制限をつける予定
- ・最近の講座の募集倍率について
公6月：3倍
北8月：2倍
東9月：2倍
- ・受講者のレベルについて
前年度に比べ、かなり下がっている印象（講座のタイトル「ほんとうにはじめての」に合ったレベルの方が受講している様子である）
- ・このレベルの受講者がくるのであれば、マウスの持ち方からを丁寧に教える必要がある

3. 各グループの活動状況・連絡事項

A グループ

- ・現在、2回目の「ほんとうにはじめてのパソコン」講座を実施中
講座の名称にレベルの合った方が受講しており、マウス操作に苦戦中

- ・自主講座を 11 月に「年賀状作成」を実施する予定（募集：12 名）
募集の案内は、PC 相談会の中でのみ行なう予定（広報への掲載は行なわない）
講座は相談会と同日に他の相談者とブースを分けて行う予定

B グループ（2006.9.14 追記）

- ・7 月東文での講座は終了。5 回という変則スケジュールで講師側のスケジュール調整が大変だった
ただ、5 月に行った 3h × 4 日のカリキュラムよりは受講生には余裕を持って講義を受けていただ
いたように感じる
- ・7 月講座反省会を実施
- ・公民館での相談会は従来どおり月に 1 回開催（8 月は講師、相談者 3 人ずつ）

C グループ

- ・自主講座を 1 月に実施予定（募集：16 名、3.0H × 3 回講座）
テーマはデジカメ・自製テキスト使用
撮影の基礎、入力説明と簡単な画像加工などを行ない、最終日にポストカードを作成し印刷予定
フォトタッチは、フリーソフト（PhotoFiltre）を使用予定
広報掲載について館と相談を行なう

D グループ

- ・9 月予定の自主講座は、広報掲載などの手続きミスにより中止となった
- ・メンバーの中からメンバー自身のスキルアップ講座の要望が出た
別途日程を設けての講座形式は準備などの負担が大きくなる為、PC 相談やミーティング時にワン
ポイント・レッスンのような形で実施することを検討
- ・9 月 PC 相談で、図書館貸出本の付録 CD を持参した相談者があった
付録 CD などの図書館貸出は認められていないはず
館から図書館への連絡・周知徹底を行なうこととなった

館からの依頼事項（野口）

- ・受講者・相談者の持参の外部媒体（CD・FD その他）があった場合、必ずウィルスチェックを行っ
た後に使用すること
- ・ウィルスソフトのアップデートをネットワークを使用する講座実施時に必ず実施すること

サポートクラブからの確認事項

- ・OutLook Express など、端末によってバージョンの違うものが複数台ある。
ウィンドウズアップデートは行なわれているのか？（竹本）
年度始めに行なっているが、業者におまかせ状態で、きちんと把握できていない
次回実施時に確認する（井上）

4 . 懸案事項について

- ・特定団体（生涯学習コーディネーター）からの講座依頼のその後
「ざま生涯学習コーディネータ連絡会」渡辺さんへ確認した結果、健康文化都市大学の“学生対象”で
はないらしい。
先方へ、趣旨の再確認を依頼したまま連絡待ちの状態。（竹本）

・PC 相談会の状況をもう少し詳しく知りたいという館の要望について

PC 相談会担当者と話し合い、統一した書式で情報を集める検討をしたが、最終的には各グループがこれまで行ってきた様式で行うこととなった。

5. 来年度講座に対するサポートクラブからの提案・要望

A グループ

- ・IT の裾野を広げるという当初の目的・館の要望を汲めば、現在の講座（テキスト・時間）を続けることが望ましい
- ・1 講座の時間数は現在の 3.0H × 4 回が妥当。1 講座についての回数が増えるのは厳しい

B グループ（2006.9.14 追記）

- ・来年度は 3h × 4 日のカリキュラムで行いたい
- ・年 3 回のスケジュールをできれば 2 回にしたい。もしくは、講座間隔をあけて欲しい（今回は、5 月（4 回）6～7 月（5 回）と続いていたため）
- ・現在のテキストを継続して使用したい
- ・公民館での夜間パソコン相談会を継続したい
- ・館によって市主催講座への温度差を感じる
設営等も出来る範囲で協力して欲しい

C グループ

- ・パソコンのアップグレードの予定はどうか？

2. 公民館からの連絡事項 参照

- ・その上で、今後の講座について市はどう考えているのか？
IT 入門講座のみで完結するのか？
入門講座を 3 回・+ の講座を 1 回などの方向で考慮いただけないか？
館・市としても、今後の見通しが立っていない状況（井上）
- ・PC 相談会は次年度以降も現状通りで行いたい（館に日程・場所の確保を引き続きお願いしたい）
- ・『入門 IT 講座 パソコン + インターネット 標準テキスト[Window XP 対応]』の提案・紹介
今年度から新テキストに変更したばかりでもあり、少なくとも 3 年程度はテキストの変更は考えていない（井上）
- ・市主催講座について
曜日の都合等はあるがグループメンバーで対応できている
現在の 3.0H × 4 回が妥当。1 講座についての回数が増えるのは厳しい

D グループ

- ・市主催講座を存続して欲しい
講座がなくなるのであれば、パソコン相談を充実させる必要がある（月 1 回では間が開きすぎる）
その場合、パソコン相談への館の協力（部屋の確保・広報などでのアナウンス）をお願いしたい
- ・来年度の市主催講座については、今年度と同じテキスト・同じ時間数（3.0H × 4 回）で講座を実施したい
- ・講座実施時期は、年間を通してバラけてほしい（2 ヶ月続くのは厳しい）
- ・午前講座の場合、前日の講座室予約・PC 設営など余計な負担がかかる為、できれば午後の講座を希望したい

- ・ 4週に渡る講座は負担という声もある一方で、丸1日講座は疲れるという声もある
- ・ 講座を最優先でスケジュールを組めるメンバーと、活動の曜日・時期に制限のつくメンバーとが半々。
可能な限り講座の日程（曜日・時間帯・時期など）を担当グループと事前調整していただきたい。
避けたい条件などは事前にわかれば、可能であれば3館で調整する方向で考える。
講座の日程については、3.0H×4回 計12時間を4.0H×3回 または 週2回の講座で2週間で終える講座の形式も可能性としてある（井上）
どういった形が望ましいか、持ち帰りの上確認（松原）

全体を通して

過去3年間の講座を経て、現状ではグループ単位の活動が主となってきており、また、グループとしてのカラーも出来上がってきている。
人数の調整がつかない場合、主体となるグループがメイン講師を担当し、サブの応援要請などを行なう形となりつつあり、それが望ましい。

来年度の市主催講座について

【決定事項】

テキストは変更なし（今年度と同じものを使用する）
原則、3.0H×4回＝12.0H
年間12回（各館4回）の講座を実施する予定
（ただし、新PCのリースが認可された場合は年間9回（各館3回）となる）

【確認事項】

館としては、各月1回で計12回講座と考えているが、4月にも講座を実施したいが、クラブとしては可能なのか？
総会（3月）直後の4月講座実施に問題があるかどうかを各グループで確認のこと。
（総会で承認をした後にしか準備に入れない・入らないなどの事情があるか？）
本件、次回の役員会（11月上旬を予定）の議題とするが、グループ内で意見を確認のうえ、事前に役員会MLに結果を流すこと

6. 自主講座に関する手続き確認

- 6-1) 講座室の予約は、年1回（3.0H×3回）のみ優先予約する
それ以上は、通常の会議室予約の手順で行う
- 6-2) 広報掲載原稿を実施グループで作成し、1ヶ月前までに自主講座の実施館へ提出し、館から広報への提出を行なう
例：12月1日号に掲載する場合、10月中旬までに掲載原稿を館へ提出する
- 6-3) 自主講座で使用するテキストの手配・発注は実施グループで行なう
（FOMテキストの場合は、館から手配先を教えてください）
また、受講者へ渡す領収書を、実施グループで作成する
- 6-4) 受講者の名札について
名札の入れ物は館から借用・名札（名前印刷）は実施グループで作成する

- 6-5) 広報掲載後の応募者名簿は館が作成し、名簿をもとに受講者の抽選を実施グループで行なう
応募者名簿は講座終了後に廃棄するか、または、講座以外の用途に使用しないことを徹底したうえで管理する（重複チェックが必要な場合のため）
- 6-6) 受講者への連絡用ハガキ
実施グループが作成し、サポートクラブ会計にて処理する（不要であれば出さない）
- 6-7) 受講生に配布する印刷物の費用実費は館の領収書をもらい、サポートクラブ会計にて処理する
- 6-8) 重複受講のチェックについて
市主催講座の名簿は館で管理する為、市主催講座と自主講座の重複受講のチェックはできない
また、同一の内容の自主講座を複数回行う場合、重複受講のチェックを行なうかどうかは実施グループの判断による

*** 6-6)、6-7)文中の「サポートクラブ会計にて」の補足説明**

(第4回役員会を受けて2006.11.13追記)

受講前に事前に把握できる必要経費（テキスト代・ハガキ代など）については、受講者から徴収したのち、サポートクラブ会計に報告の上処理する
突発的に発生した費用（印刷物など）については、立替払いの後、サポートクラブ会計にて処理を行なう

7. HP 上での会員募集に対する提示方法と受付対応者・受付方法について

- 7-1) 文案について（添付の 060910_HP による会員募集文.doc 参照）

役員会より募集の文案作成を HP 部会に依頼した

応募者の範囲（スキル）として、過去の経験として

- ・非常に高度な技術をもち、腕をふるいたい
- ・何もできないのに入りたい（単なるお勉強会と思っている）
- ・お金になると思っている人もいる

などの事例があるため、これらを除外する文面とした（福田）

「060910_HP による会員募集文」を [クラブの紹介] ページに掲載することとする

（実行に当たって必要があれば上記文面の修文は HP 部会に一任する）

- 7-2) 入会希望者からのメール(メールフォームから)を受信するメールアカウントをあらたに作成し、役員会 ML で受信する
- 7-3) 入会希望者の希望したパソコン相談の担当グループリーダーが、一次対応を行なう。
（都合により、当日担当グループのリーダーが不在の場合は、あらかじめ代理人へ依頼する）
一次対応では、「一次対応説明資料」を印刷のうえ、入会希望者へ説明する
（060910_一次対応説明資料.doc 参照）
- 7-4) 募集文の「こちらへ」のリンク先について
応募者のメールアカウント・希望のパソコン相談の日程を入力するメールフォームを開き、役員会 ML へ届くアカウントへ送信する
現サーバで利用できるアカウントに余裕があれば、あらたに本用途のメールアカウントを取得し、役員会 ML に連絡する（福田）
あらたな取得が不可の場合、後日フリーのアカウントを取得のうえ、HP 部会へ連絡する（松原）
どちらの場合も、役員会 ML へアカウントを登録する（松原）

(募集ページの公開は、アカウントが決まった後となります)

入会希望者の受付から入会までの流れ

希望者からの HP からのコンタクトを役員会_ML にて受信

応募者の希望したパソコン相談会の主催グループのリーダー(または代理人)による
一次対応(「一次対応説明資料」を提示)

入会の意思表示があれば、会則にのっとって役員会の同意を得る

の段階で以下の3つの資料をサポートクラブ HP より印刷したものを提示し説明する

「会則」: http://zpsc.or.tv/private/kaisoku/ma_kaisoku.html

「組織」: http://zpsc.or.tv/private/soshiki/ms_soshiki.html

「講座資料の著作権などについて」: http://zpsc.or.tv/private/rules/ma_kouza_text.html

* 但し、入会の希望を撤回した場合は、上記資料は回収する

第4回役員会により上記、 ・ 項を入れ替え、以下の手順に訂正する(2006.11.13)

希望者からの HP からのコンタクトを役員会_ML にて受信

応募者の希望したパソコン相談会の主催グループのリーダー(または代理人)による一次対応
(「一次対応説明資料」を提示)

入会の意志が確認できれば、さらに以下の資料をサポートクラブ HP より印刷したものを
提示し説明する

「会則」: http://zpsc.or.tv/private/kaisoku/ma_kaisoku.html

「組織」: http://zpsc.or.tv/private/soshiki/ms_soshiki.html

「講座資料の著作権などについて」: http://zpsc.or.tv/private/rules/ma_kouza_text.html

* 但し、入会の希望を撤回した場合は、上記資料は回収する

入会の意思表示があれば、会則にのっとって役員会の同意を得る

(補足) HP 以外での会員募集の方法について

広報: 広報掲載内容として適正であれば年1回(?)の掲載は可能であろう

但し、連絡先が、URL やメールアドレス記載で可能かどうかは要確認

当面は、常時受入を行なう方法として HP 上での募集を行なうこととする

8. その他

・ B グループより (2006.9.14 追記)

クラブ入会、B グループ所属で承認された杉村さんについて、ご本人と連絡がつかず、活動への参加もない状況

3月に前年度活動費として杉村さん分のお金を預かっているが、参加の意思が確認できないため、
11月の役員会の時に会に返納したい

・ 次回役員会について

第4回役員会を11月上旬に予定(日程は後日役員会_ML にて)

12月末までに、次期グループリーダーを選出しておくこと

以上